



今月のスマイル



↓メスからの卵の絞り出しを体験する子どもたち



地 霞ヶ浦北小学校 地域産業体験事業
地域産業を体験し郷土愛を育む

1月23日、霞ヶ浦北小学校の5年生児童が、沖の内船溜で地元漁業者などの指導のもと「ワカサギの人工孵化作業」を体験しました。子どもたちの郷土理解と人材育成を図ることが目的。終了後には、ワカサギや白魚などのてんぷらを試食。児童からは「あんなにたくさん卵を産むとは思わなかったのでびっくりした」との感想がありました。

↓座間味の美しい海をシーカヤックに乗り仲間と笑顔で記念撮影



↑沖縄県座間味村観光大使を務める狩野平左衛門岳也さん(中央)

仲 沖縄子ども探検隊
仲間と感動を分かち合った貴重な体験

12月23日～26日、「沖縄子ども探検隊」を実施。小学5・6年生20人が参加。透明度抜群の海をシーカヤックやグラスボートでの海洋体験、ひめゆり平和祈念資料館での平和学習など、仲間と多くのことを学び感動を分かち合った4日間となりました。なお、本市在住の狩野平左衛門岳也さんが、沖縄県座間味村観光大使としてご活躍されています。

突 親子で学ぶ防災教室
然の災害！どう対処する？

1月22日、千代田公民館で「親子で学ぶ防災教室」が開催されました。親子13組のほか地元の消防団員などが参加。大地震に備えるための知識をゲーム形式で学んだり、身近なものを使って応急手当をする方法を体験するなどしました。参加者からは「分かりやすく丁寧に教えてもらい良い経験になりました」との感想がありました。



↑段ボールや食品用ラップなどを使って応急手当の方法を学ぶ参加者

今 市消防出初め式
年1年の無火災・無災害を祈願

1月11日、体育センターで「市消防出初め式」が挙行されました。出初め式は、消防団員や消防職員、関係者が一堂に会し、市民の生命と財産などを守る決意を新たに士気の高揚を図ることを目的に毎年開催されています。坪井市長は「消防精神の鍛練と消防技術の向上に努められ、市民の厚い信頼に応えていただきたい」とあいさつを述べました。



↑式典であいさつを述べる坪井市長

い 久しぶりの仲間との再会に会話も弾みます。ふるさと大使アントキの猪木さんが余興で会場を盛り上げました。会場一角に設けられた「Uターン・就業・起業相談コーナー」にスクリーンに映し出された懐かしい写真に当時の思い出がよみがえります。



ふ 三十会 in かすみがうら
ふるさとで旧交を温める

1月28日、「30歳の大同窓会」が開催されました。市内の公立中学校を卒業した58人が参加。ふるさと大使のアントキの猪木さんが司会を務め、会場を盛り上げました。結婚、出産、転職、新居の建設など転機となることになりうる節目の年。参加者は、同級生との再会や学校の枠を超えた新たな出会いによる交流を楽しみました。これがきっかけとなり、Uターン・定住につながることを期待されます。参加者からは「とても有意義な時間を過ごすことができました」との感想がありました。

↓加固市議会副議長の音頭で乾杯をする出席者の皆さん



新 新春賀詞交歓会
新たな事業や産業で市の活性化を

1月13日、市と市商工会主催の新春賀詞交歓会が開催され新年の飛躍を誓い合いました。坪井市長が「新たな事業や産業を創出していくことが市の活性化につながる。交流人口の増加と雇用促進を目的とした施策や事業を進めていく」とあいさつ。加固市議会副議長の乾杯で祝宴に入ると、終始和やかな懇談が繰り広げられました。

若 市長と高校生の懇談会
若い世代と語りあう未来のまちづくり

1月26日、千代田庁舎で「市長と話そう！かすみーいんぐ」を開催。つくば国際大学東風高校2年生6人が市長と懇談しました。生徒からは「10年後に市をどのようにしたいか」「霞ヶ浦の水質はどのくらい良くなっているのか」などの質問が出されました。また、若い視点での「住み続けたいまち」について提案いただくなど、意見交換を行いました。



↑市長とまちづくりについて意見交換をする東風高校の生徒たち